

実務者（現場技術者）向け

IPC 規格の活用とはんだ付け技術の向上

日時 2020年11月20日（金）13:30～16:15

場所 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（本部）
東京都江東区青海2-4-10

●ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前

●りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩15分 [朝夕無料送迎バスあり]
都営バス海01 テレコムセンター駅前下車

受講料 1,500円



マスコットキャラクター テリノ

定員

50名



国際標準 IPC*規格は電子機器組立の製品評価基準として、国際機関をはじめとする世界各国で採用されています。日本国内においても重要な製品評価基準となりつつあります。

特に、はんだ付けなどの部品の実装に関しては詳細に規定されております。MIL規格も、現在ではIPCに移管されております。

本セミナーでは電子機器組立に焦点を当てます。電子機器組立に携わる技術者にIPC規格を活用していただけるよう、ご説明致します。

電子機器組立に携わる技術者、これから携わる方のご参加を是非お待ちしております。

※IPC（Institute for Printed Circuits：米国電子回路協会）

【新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力をお願い】

ご来場の際には必ずマスクの着用および弊センター備え付け消毒液で手指消毒のご協力をお願いいたします。

時間	科目	講師
13:30～13:40	都産技研概要紹介	東京都立産業技術研究センター 電気電子技術グループ 職員
13:40～14:30	IPCの概要	株式会社ジャパンユニックス 経営企画部 経営企画グループ長 河野 友作
休憩 10分		
14:40～16:15	現場と国際規格に準拠する実際のはんだ付け方法	株式会社ジャパンユニックス IPCアドバイザー テクニカルトレーナー 若林 敏夫